



第二號

刷印日八月四年六和昭
行發日十月四年六和昭
(品實非)
地番二七五一村丘竜新伊下野野長
編兼行發
耶史田中入刷印輯
村丘竜新伊下野野長
會年青竜 所行發
司代喜原者表代
町田飯野野長
所版活下木所刷印

竜丘生産組合の

原料規格統一向上ニ關スル 決定事項

(一) 蠶品種統一ヲ計ル爲メ蠶業調査ハ數回ノ調査研究ニヨリ左ノ通り品種及蠶種ヲ定ム
一、春蠶種(白繭)歐九×支二五 正白×歐白
(黃繭)歐九×正白 歐九×白一
一、夏蠶種 日一〇×支一〇五 昭和×歐白
一、秋蠶種 日一〇×支一〇五 日新×昭和

指定蠶種家トシテ左ノ二十名ヲ撰定セリ
(但シ成績如何ニヨリ年々之ヲ撰定ス)
中嶋金一郎、木下寛一、今村藤造、今村武一、今村清藏、田中荷一郎、石原茂一、田中本太郎、三石謙、古田宗作、久保田泰助、松澤久雄、市瀬清衛、矢崎正雄、金澤榮、熊谷善一、福嶋義直、橋爪清、川手利八、片桐信一

三月二十五日蠶種家ト會合協議ノ結果蠶種代支拂方法ヲ左ノ通り協定ス
一、春蠶種代ハ秋季組合員ニ配布後十一月末ニ於テ價格ヲ協定シ代金ヲ支拂フ
二、夏蠶種ハ七月末日秋蠶ハ八月末日秋蠶ハ九月十五日迄ニ價格ヲ協定シ代金ヲ支拂フ
(但シ協定前蠶種ヲ配付シ蠶種家ノ希望ニヨリ内渡シテナス)

三、價格協定標準ハ「グラム」ニヨリ算出シ組合ニテ立替ヲナス
(一) 指定品種獎勵法
(二) 指定品種ヲ飼育シタルモノニ對シ一グラム金二錢ツ、ノ獎勵金ヲ附ス
二、實行組合ニ對シテハ指定品種ヲ飼育シタル率ニヨリ成績点数ヲ加除ス
備考
蠶種ノ注文ハ組合員若クハ實行組合ニ於テ直接指定蠶種家ニ申込ム
申込ヲナシタル時ハ實行組合長之ヲ取纏メ本組合ヘ届出ヅル本組合ハ組合員名、指定蠶種家名、品種數量ヲ記シタル蠶種引換傳票ヲ交付ス、指定蠶種家以外ノ蠶種モ指定品種ニ限リ實行組合長証印アル蠶種ヲ飼育ナシ供納シタルモノハ種臺持參ノ上所定ノ獎勵金ヲ受クベシ但シ蠶種代ヲ支拂タル蠶種家ノ領收書アルモノニ限ル事
指定品種ハ翌年ハ變更スルコトアルベシ
昭和六年三月廿三日
竜丘生産系組合

第六聯合班武術大會

第六聯合班武術大會を川路小學校に於て舉行す
龍丘分會よりは左記の諸氏大きに奮闘せしも欠席選手多き爲慘敗せる遺憾であつた
出場選手名
吉、三等小島銀一
廣男、三等吉川二郎

竜丘信用組合 役員改選結果

壹月廿九日竜丘信用組合第二十一回通常總會ニ於テ役員改選並ニ増員選舉ノ結果左ノ通り
同日役員増員ニ依リ定款變更ヲ爲シ申請ノ處去ル三月拾日附認可ニ付キ其ノ後理事會ニ於テ組合長互選ノ結果清水眞吾氏ニ決定全日就任セリ

竜丘軍人總會

三月十日 午前九時より戦病死者墓參及武術會
午後一時より總會及入會、退會式
本年度退會者二十七名
全 入會者拾九名
副會長補欠選舉の結果、桐生喜一氏當選す
武術會入賞者
銃劍術 一等小林訣、二等鹽澤好

人口及戸數ノ異動ニ關スル事項

昭和四年末日現在 昭和五年末日現在
本籍 四、六二二 四、七〇六
入寄者 二六八 二六九
出寄留 二七二 二七四
現在人口 四、六一九 四、七〇一
戸數 七七二 七七二

戸籍の動き

昭和五年末日現在本村戸籍受件數は左の如し
出生 一七五 一三
死亡 八九 四
婚姻 七八 ナシ

竜丘村豫算

昭和六年度本村豫算を二月二十六日より六日間審議を行ひ、決定する
歳入總額 四四四四七圓
歳出總額 四四四四七圓

多收穫品評會成績

昭 計 失 離 名 轉 入 全 養 分 家 隨
和 計 踪 婚 變 籍 籍 離 子 家 督 居
五 三 三 三 八 三 二 一 〇 一 九 四
年 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
計 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
失 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
踪 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
婚 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
變 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
籍 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
籍 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
離 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
子 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
家 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
督 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
居 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

竜丘村農會

總代選舉日程

總代選舉人名簿調製 三月十日現在
選舉人名簿縱覽公告 三月十四日
選舉人名簿縱覽期間 自三月二十一日至三月二十七日
選舉人名簿異議申立期間 四月一日迄
選舉執行公告 四月五日頃
立會人選定 四月十日迄
選舉執行通知 四月十一日
選舉異議申立期間 四月十六日迄
選舉公告並ニ縣へ報告 四月十八日迄
選舉異議申立期間 四月二十七日迄
選舉異議決定日期 五月二日迄
選舉異議決定日期 五月八日迄
總代選舉會召集 四月二十六日
役員選任ノ件、知事報告 五月四日
議員豫備議員ヲ郡農會ニ報告 即日

各區村社祭典

四月十二日 時又八王子社
四月十三日 駄科諏訪社
四月十四日 上川路八幡社
四月十五日 桐林八幡社
三月二十八日 長野原金山社

時又驛概況

昭和六年一月
一、旅客 五、八九三
イ、乗客 六、八〇八
ロ、降客
二、貨物 六四車
イ、到着車數 七〇九
ロ、到着口數 七六〇
全 瓦 三、三三五
三、旅客附隨小荷物及小荷物
イ、發送口數 九九〇
ロ、到着口數 五五五
全 瓦 七三三
三、到着口數 三、四五八

兵事雜報

○本村海軍志願兵合格者
下平武一、小林和三
○本村徴兵検査日割は七月二拾五日決定

豚公の検診

三月二十四日飯田署から本牧技手來村して村内養診の検診を行へり

竜丘採種組合總會

三月二日午後一時より組合長宅に總會を開き、前年度の事務會計報告並に本年度事業計畫を決定す
龍丘胡瓜の種子入用者は伊坪組合長宛申込あれば一袋五錢で分譲す
但し本年度は小口に多數の栽培者に試作を望む爲袋數に限があまりから至急申込を要す



丘の學校便り

常はあまり考へないでゐても、何か變つたことがあると、しみみり人生のことを考へて、そして獨り解らなくなるのが、私共人間であります。

それをいゝかげんに見ぬ振りをして見のがすことが多すぎます。之れは永い間習慣づけられた、不眞面目な臆病な多くの人達の通有性であります。之れは一番に恥ぢなければならぬこと、思ひます。始めて學校へ入學する子供がある

すて、おけばいつか其の時が來て、否應なしに學校へ行く、それを學校へ渡せばそれで教育がなんの事なしにだんだんに出來る、かう考へる人が多くはないでせうか。入學兒童についての此の考へ方はあまりに無考であつて、家庭としても又學校としても、今少し思ひを此處に潜めなくてはならない事だと感じます。

今此處に考へて置きたいことから順次書き添へて御參考に供し度いと存じます。

(一) 子供が自覺すること。

學校へ入學するといふことは、子供にとつて自覺の大きな刺激であります。

「學校へ入學した」「一年生になつた」といへば、もう今迄とはまるで變つた人間になつたのだといふひびきを與へます。

子供の心持ちが急に變つて、今迄手を引いて貰ふのを喜んでゐたのが、飛び廻るといふ仕末です。それは手など引いて貰ふと「我」といふ「自覺」をきつづけられるからです。

此の自覺が總ての出發點であり、之を伸ぶことが教育の中心の目標であると思ひます。

然るに私共は此の自覺をきつづけることを、知らず／＼やつてゐる。どのあまりに多いのに驚きます。

此の點を大いに考へねばならないと思ひます。

(二) 子供の書。

一寸見ると何んだ、まあと思ふ様な子供の書にどうすることも出來ない力があります。それがわか

らずに「何だへたななあ」と批評する。これはそも／＼二重の罪惡であります。それは大人の無智と子供の自覺を殺すこと。何となく子供は書によつて、我を見てゐるのです。その喜びを買つてやらなければなりません。何を書かうが子供にとつてはそれは、「即、我」なのです。

(三) 自分の物。

自分の本箱、机、本、手帖、鉛筆、硯、筆等を得ることを無上の喜びとします。子供の財産であります。

一番最初の學用品だけは新しいものを買つてやりたいものです。

(四) 認めること、物の保存。

このやうに子供の字にしろ、書にしろ、綴り方にしろ、彼のものとして認めてやることは、彼を益々發展させることになり、彼の認めてやるのが大切なるのであり、之れがわらう教育になるのです。画でも、字でも、それを書く

時の骨折りを買つてやるのが大切であります。更に其の結果物を成績品を永く保存してやるやうにする。これは、やつぱり子供の心を認めることであつて、之れが同時に自分のものを大切にすることを自らに教へることになるのであります。

物事に一心になると共に、それを忘れ勝ちで「やりやちやり」になるのが子供には多いからです。

(五) 「俺が」といふ言葉をよく使ひ、またよく態度にも表はすのが子供であります。

坪庭を俺もこしらへるといふて、大切な庭を掘り出すことがあり

庭の一部分を與へてやりますと、色々採つて來て植ゑます。

庭の一部分を與へてやりますと、色々採つて來て植ゑます。大人から考へると、何だまあと思ふ様な物を盛んに植ゑこみます。あれでは育ちやうがないと思ふ様な植ゑ方をしてゐます。そのくせ大人が手傳つて呉れることを喜びません。手を出すとおこり出して、折角

植ゑたものを掘つてしまふ様な、無鐵砲な事でもします。「自我」の強い子供はさうしてゐる中に自然の法則を感得するのです。

仕事を本當に一心にやることは、むしろ幼ない子供にあり、半坪位ひの土地や子供の鍬位を與へてやることよと思ひます。そして、すいたことをすいた様にやらせる事もよいと思ひます。

大人の「俺が」はもう芽が止まる證據であり、子供の「俺が」は之れから芽の伸びる「俺が」であります。

樫の實が樫の木にいふことに「今に見てゐる僕だつて見上げる程の大木になつて見せすにおくものか。」

(六) 求める心が四才頃から盛んになつて、入學する頃が其の絶頂に達します。之れは私の自覺を伴つて成長し正確にもなるものでせうが驚くべき力です。

子供が求めるものは「あぶないもの」をのぞいては總てを與へねばならないと思ひます。求めても思ふ様に與へられないと、遂ひには求めるものもなくなつて、求める場所を他にさがすやうになります。勉強をしなくなるのも、人にくれて悪いことをするの、大きくなつて自堕落になるの、人から求める心をもぎとられたことかから生れるのです。すべての悪は、こゝに芽を持つてゐるのではないでせうか。

この求める心を、むつぷしにしない様に、益々此の心を伸し、善いものを求めるやうに、仕向けるのが親の務めであり、教師の務めであり、教育は唯だ茲に可能性が

あります。

子供から、本當に聞いたら、五つの子供に字を教へてもよいし、一年生に漢字を教へても、尋常三年生に英語を教へてもよいのです。子供から色々の質問が出たならば、幼い子供の心持になつて、よく理解されるやうに教へてゆくことが大切で、教へるとは解らせること

質問された事に解釋を與へることの出来ない時があり、其の様な時は決して、誤魔化したり、い加減にしない様に、適當な方法を考へて満足を得てやるべきことが大切であります。

口にはなくとも、心に求めてゐます。眼で求めてゐます。そこを洞察出來得る人は大した親であり大した先生であります。

社會の事情で悪いものをも、求めることがあります。若しよく考へて悪いと思ふた時、それをむつぷしにせず、其の心を他に向けしむる様にせねばなりません。其の反面のよい點を伸すのです。

角をためて、牛を殺すことは世の中に往々あることです。

親達も先生も、ほんどうに求める人であるならば、其の心持ちは自然に子供にひびいて、子供の求める心、いゝものに育てることになるのであります。随つて、親や先生が勉強せずに、働かすによいことをせすに、もう教育する力はありません。此の悪い影響は此の子供の生きた心を殺すことになり、

(七) 我儘心。自覺に伴つて起きる心であります。此の芽の出るのは三四歳頃で、それが七八歳頃になると甚だしくなります。

此の我が儘が増長したら、もう其の人はをしまひです。何物にも耐えて行くやうに、我が儘心を起さないやうに、だん／＼教養すること大切であります。或る人の話に三四歳頃此の我儘心の芽のふく時「びしやつ」と止めてしまはな

いと一生附きまといふことを

申してゐる。それ程なのであります。

可愛い一杯で言ふなりにすることはいかないことであつて、一方では自由を伸すと共は、一方では悪の芽を止めねばならぬので、仲々面倒な所であり、

三月二十四日午前九時より小學校補習學校の卒業式を舉行せり。

本年度尋常科卒業生 八十九名
高等科卒業生 四十八名

入學式
四月二日午前九時ヨリ舉行ス
入學者數 百二十四名

青訓入所式
四月三日午前九時より小學校校庭に於て青年訓練所第六回入所式を舉行せり

竜丘の兒童畫
ブラジルに異彩を放つ
昨年南米ブラジル國に送りたる本村兒童畫はサンパウロ市に於いて頗る異彩を放ち、日伯親善の上に多大の効果を收め、その後同市教育局長の手下に入り多分師範學校附

職員異動

昭和六年度
退職及轉校
橋爪先生(退) 河野先生(飯田)
橋倉先生(赤穂) 菅沼先生(奈條)
小澤先生(松尾) 坂巻先生(泰阜)
田中先生(退) 松村先生(松尾)
下平先生(退) 松下先生(女師)

青訓卒業式

三月二十一日午後一時より小學校庭に於て舉行した
本年度青訓卒業生 二〇名

廢物利用

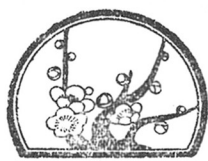
少量の粉炭を流しこまに置いて置けば、臭氣止まり、生の牛肉、鳥肉、魚肉に粉炭をふりかけて置けば腐敗を防ぎ僅の粉炭を目の細かい巾金に包んで、痛い所へ當てる、火傷や其の他の痛みが取れる。

茶話會賛成者 二百五名
金貳拾圓五拾錢 菓子代
記念品寄附金總額
金九拾壹圓〇貳錢也
贈呈品ノ内譯
金參拾八圓
瓶掛一ヶ鐵瓶一ヶ
殘余ハ正金ニテ贈呈セリ
門下生及有志

前號誤字訂正
A 面四段人蓋一如の絶体郷三行目
その糸量六千貫は「八千貫金」誤
B 面三段一行目
前島季夫ハ「秀夫」ノ誤

次號之切

あらゆる方面の原稿を募ります。ふるつて投稿して下さい。



青年欄

竜丘青年會

事業計畫

四月 春季總會、農事視察自轉車旅行、野球大會、時報發行、入會山植、林手入、讀書會(三日)、圖書、館報發行、夜間貸出打切、圖書整理、五月、六月、時報發行

研究會開催

二月二十八日午後七時より教育部主催にて小學校記念館に研究會を開催、研究議題は各支會提出に依る、青年會競技としてフットボール(時又)

野球大會

四月二、三日二日間小學校庭に於て体育部主催の下に野球試合を開催した、出場チームは七チーム、審判、馬島進、原俊治、清水肇、熊谷四郎の四氏

試合經過 四月二日午後 第一回戦 桐林OB 9 - 2 時又青年 四月三日午前 駄科青年 10 - 0 三五チーム 時又實業 5 - 0 龍丘生産 不戦一勝、桐林青年 午後 準決勝戦 桐林青年 18 - 10 駄科青年 時又實業 12 - 3 桐林OB 優勝戦 時又實業 12 - 0 桐林青年 午後六時盛會裡に二日間の野球大會の幕を閉す

第一回單人慰問品發送決算報告

青年會、處女會の事業計畫により第一回發送を三月九日行ふ。(第一回は駄科支會上川路支會) 收入總額 拾六圓六拾錢

駄科支會

青年會 二圓四十錢 處女會 會二圓十三錢 手拭四本 上川路支會 青年會 二圓六十錢 處女會 一圓十五錢 竜丘青年會々計ヨリ八圓十四錢

支出總額 拾六圓六拾錢

諸買物 拾三圓四拾七錢 送料 三圓拾三錢 本村在營兵二拾名 慰問品に入れた品物、葉書、石鹼、干葡萄酒、靴下、手拭、針糸等であります。

身の團體で有るから最も合理的に利用すべきで有る。以上にて討論を打ち切り盛會に終る

慰問品發送について一寸感じた事を附記す。

風雪嚴寒骨を徹する日も不飽不倦日夜同胞の爲めに奮闘されてゐる兄達を思ふ時心から感謝せずにはゐられぬ... 此の二年間の勞をお慰める慰問品を出すたつた十錢位の金をおしみつゝ、其の金でバツトをふかしカフエーのコーヒーに舌鼓を打つ様な哀れな吝嗇漢は此の丘の若者には無いと信じるが万一つたら其の吝嗇漢ぶりのハチを少しは知るが、又金に囚はれた吝嗇漢の心理こそ哀れ、女に囚はれた者がその痘痕を隠し、その斜視を秋波と考へる類の心理状態であると思ふ竜丘の若人にはそんな吝嗇漢のいのを喜としつゝ(左田夫記)

各支會事業報告

○駄科青年會 一月一日年始總會開催 一月十五日体育部卓球大會 一月二十一日より五日間實業部葉細工講習會 二月十八日教育部唱歌練習會 三月二十日教育部娛樂會 三月三十日臼井より生糸組合へ松葉の運搬開催 四月一日春期總會

時又青年會

四月 春季總會並例會、村社祭典 體育練習會、天長節祝賀會 一泊旅行、文庫二回貸出 五月 家鼠驅除、茶話會並に例會 六月 例會 ○事業報告 三月二十一日 道作り 全 二十八日 初午竜丘副業品バザール 全 二十九日 月見草手入

桐林青年會

四月 春期總會、見學、班別野球試合、觀花會見學糶種水選

村社祭典準備、文庫貸出

五月 文庫貸出及ベ切 六月 ナン 三月十八日午後七時半より農業經營は如何にあるべきか。不況時に於ける吾々の覺悟。に附ての座談會を開いた。

葉細工に付て

昭和六年二月十七日の午後、桐林青年會實業部主催の葉細工品評會の出品物の審査を致しました。皆よく出来ていました。私の初めの考では青年諸君は草履や草鞋は素人であると思つていました。此數年間には皆ゴム足袋を履いてゐるから全く草鞋や草履は顧みられでるものと信じてをりました。其出品を視ると一番六ヶ敷い草履の出来栄の良のには驚入りました。草鞋も實用的に出来てをつて丈夫に念入りでした。太繩にも優良品がありました。尚ほ市子や繩網、上簇器、蓑もありました。之れは私としては参考品のつもりで視てをきました。實用向として青年諸君の葉細工は繩類、草鞋、草履を第一として製作されんとを望むのであります。仕事の都合にて労働日數に餘裕があれば、上簇器の様なものを作つて副業品として賣出する様に致すも至極良いものであります。先づ自家用向の品物を製作するとが日下の急務と存じます。其内でも草履を冬の内に依つてをいて婦女の桑畑行きのものとする必要と存じます。子供用のものも必要と思ひます。此の婦女女子向子供向各其用途に従つて草履の作り方に特色がありますから、之を青年諸君が其々に寄合つて研究されて其用途に適する様に作品されんとを希望するのであります。彼の子供や婦女女子は足の指に力を入れて歩きますから、草履の作り始めと鼻緒の据へ方を研究する必要があります。以上は一例を申したのであります。が葉細工も合理的に研究して意義あるしめたひものであります。次に副業品として、葉類の製造であります。之は稲作當時から考へてをく必要があると思ひます。即ち葉類用向の葉を自給的に得るとすれば其れに適する彼の新潟縣地方に栽培される様な葉丈の短き品種の稲を作るとあります。勿論收量も相當に多きものでなければなりません。之れには分葉の多き品種を採擇するべきであります。彼の改良され「大場」の様な種類が、越後俵の葉を利用して宜しいが、之れは地方産物を目的として安定的な方法でありませぬ、依つて若し葉葉が有葉と云ふことになれば先づ稲作の栽培上より手を染めるべきであると思ひます。以上私の意見を申上げた次第であります。

丘の處女會だより

(各支會事業報告及事業) 一月 新年總會、足袋講習會 二月 妊婦診談、レコード會、料理講習會 三月 妊婦診談、母姉懇談會、娛樂會、年度末總會 四月 新入會者歓迎會、妊婦診談、公園掃除 五月 妊婦診談 六月 ナン

時又處女會事業報告

三月三日 長石寺に於て、時又婦人會發會式に参加 全六・七・八日毛糸編物講習會 全三日間 洗張講習會 全二十八日 初午バザール

桐林處女會事業報告

三月三日より四日間 活花講習會 毎日午前九時より午後四時迄 全二十一日 午後七時半より年度末總會開催

竜丘消防組年中行事

一、火防宣傳 四月五日 一、春季演習 四月上旬 一、不時演習 八月中旬 一、秋季演習 十月下旬 一、組員異動 十一月下旬 一、火防宣傳 十二月五日 一、年末夜警 十二月末一週間

昭和六年經費豫算

收入ノ部 一、村警備費 五八〇圓 二、前年度繰越金 一〇六 三、雜收入 一 合計 六八七 支出ノ部 一、出初式費 七〇 二、演習費 八〇 三、講習會費 二〇 四、幹部總會費 一五 五、役員會費 三 六、組員手當 一四三 七、表彰費 二〇 八、負擔金 三〇 九、器具修繕費 二〇 一〇、救護藥品費 一五 一一、火災出場費 三五 一二、小使手當 一五 一三、備品費 一〇 一四、消耗品費 一〇 一五、器具購入補助積立金 五〇 一六、傷痍疾病手當積立金 三〇 一七、基本財産積立金 五〇 一八、雜費 三七 一九、豫備費 三九 合計 六八七 收支差引殘金ナシ

漫言

小林洋吉

○昔、内村鑑三氏の所へ講義を... 本多さんは基督教界の棟梁にして... 風采堂々たる偉人なりき、妻の選...

苗代ノ肥料ニ就テ

農會

木

下

敏

昔ヨリ苗半作ト申シマシテ苗出来... ノ良否ハ稻作ニ至大ノ影響アルコ...

(二)

勿れ内的修養をして待つて居れ... 「コンナ谷間ニ姫百合が忘れら...

たものだ... ○昔は心懸なき人を「取つたか...

に取つた、書の妙趣は毛程の差に... ある、達人至人我等と又毛程の差...

に經營を進めて行く... 土の藝術... 丘のうた... 小曲そむけ... 丘路陽子

必ず成功する。人參の作り方。

人參の播付後餘り氣温が低かつた... 乾燥し過ぎたりすれば發芽のし...

石灰分や動物質を與へて抵抗を強... くるために、生飼や生貝類を潰...

和田豊作氏 本年度養蠶對策... 本年度の春繭出廻り期に糸價が如...

詩 斷想詩片... 野良に立つて心より... 生命と生命の接觸をかきまわると...

Table with 2 columns: 肥料種類 (Fertilizer types) and 分量 (Amounts). Includes items like 硫酸アンモニヤ, 硫酸石灰, etc.

Table with 2 columns: 肥料種類 (Fertilizer types) and 分量 (Amounts). Includes items like 硫酸アンモニヤ, 硫酸石灰, etc.

Table with 2 columns: 肥料種類 (Fertilizer types) and 分量 (Amounts). Includes items like 硫酸アンモニヤ, 硫酸石灰, etc.

Table with 2 columns: 肥料種類 (Fertilizer types) and 分量 (Amounts). Includes items like 硫酸アンモニヤ, 硫酸石灰, etc.

圖書館便り

號二第

讀書雜誌記

(思ひついたまことに) 北澤小太郎

圖書館の蔵る書籍の壹冊を借りた時の事……である

読みさしの軽い疲勞に頁の中頃を閉ぢやうとした時ふと氣付くと青い房の付いた茶が壹枚誰れかに忘れたものか……

「此の本を讀む方は此の茶を御利用下さい」と……

二年程前の事だ、或ひは僕の記憶の底から想ひ出した文句には多少相違があるかも知れない、

○經濟界の不況が深刻になる程、一切の生産物は減産せられ若しくは生産制限の手段に依つて市價維持を努める時出版界のみは書籍發行數が非常な勢で激増しつつある

其の數字統計は昭和五年度内の新刊が四千三百三十六種、昭和四年度に比較すると千三百三十五種の増加を示して居るのである

然も以上の新刊中には豫約發行の書籍を除いた數字なのださうだ

毎日平均拾壹冊以上の新刊書籍を各書店へ汎濫して居る出版は、何にが故にかくも激増したのである

從つて經濟的な打撃から起つた量的な出版の増加は無分別な出版即ち内容に誠意の無い出版を如何に増加せしめた事だらうか?

東京の或る大きな書店に務めて居る知人を訪ねた時、書物の堆積が倉庫を滿たし書棚を充たして居る間に立つた、僕は足下に無難作に一冊の商品として扱はれて居る書物に丁度お菓子屋の子僧さんが菓子に對する慾望を感じぬ様になると云うのと似た現象を其處に感じた

昔の志ある人が學ばうとした態度は製版術の幼稚な時代であるだけに一冊の書をへ成ひは手寫しの書(真劍に尊重して讀破した事を聞くに付けても、書籍出版の洪水に見舞はれて居る今日の自分達の書物に對する關心は書店の子僧が扱ふのに似た無難作な態度を増して來たと思ふ

或る圖書館の職員を志望した青年に「君は何の目的で圖書館を志望したのか」と問うたら、彼は「僕は讀書が何よりの趣味なので」と其處の係り官は答へたのに對して……

圖書館員は本を讀む爲に居るので無く圖書館としての機關を整理し活動せしめる爲に任めるのだと訓されて其青年は歸つたと云う話を聞いた、僕自身其の話を聞いた時「本屋の番頭になつたら好きな本が讀めて良いだらうに」と空想を走らした頃の思出を浮べて微笑を禁じざるなかつた

長野の師範校通りの二三軒の古本屋をさがして何時も陰氣な紙埃の多い書籍の推積の中から一冊の求めて居た書籍をさがし出した折の事である、……

其の表紙の見返しの頁に認められた歌が一つあつた

「新しき本を買ひ來て 讀む夜半の 其のたのしきも長く忘れぬ」

誰が書いたか隊木の其の歌は新刊を求め得た時の愉快な心持であるだらうけれども、其の時は古本乍ら大切に其の本を携へて夜の町通りを下宿に歸つた

昭五年度 圖書部費會計

支出金 參百貳拾圓七拾參錢四厘

右内譯

收入金 參百貳拾參圓七拾八錢 右内譯

未納書籍について

昭和五年拾貳月末日現在圖書館、未整理の貸出書籍は左の通りです

昭五年度 圖書部門別購入額表

法經社三五 正義と自由

宗哲 八七 佛教真髓

法經社 四八 言海

普通部 法經社三五 正義と自由

法經社七四 經濟風土記

全 九五 對支問題

全 一〇〇 産業合理化

全 二二 進化と遺傳

全 六一 最新科學の語

全 八 人類への宣言

全 八 新趣味の袋物

文語 二七一 柿蔭集

全 二八二 ギリシヤ神話

全 二九八 吾輩は猫である

全 三一八 芭蕉の臨終

全 三三六 鷗外全集

全 三三九 子規全集

全 三六八 子規全集

全 三七八 商部戦線異狀なし

全 三六八 子規全集

全 三六八 子規全集

全 三六八 子規全集

全 三六八 子規全集

全 三六八 子規全集

全 三六八 子規全集

投書箱設置

に就いて

今度圖書館内に一般讀書子の御要求を承る可く小さな投書箱が其の任に就きました

購入圖書に對する皆さんの希望書籍或ひは圖書館事業の上の遠慮無い批判、眞面目な意味の投書なら何時にても歡迎致します

圖書館が廣く一般の人々の聲を承らうとする唯一の投書箱を有意義に御利用下さる様紙上から御願ひして置きます

猶 右の投書は圖書部に於て開き其の事業上の參考に資する豫定です

文語 四〇〇 講談全集 十一

雑報

第四部消防では四月五日午前火防宣傳を行ひ午後二十周年記念祝賀會を開催せり

産業組合座談會

三月拾九日午後四時より梅屋に於産業組合關係者及學校より校長先生以下三名出席して産業組合に於て座談的に意見交換を行なつた

昭和六年貳月第壹回購入圖書名

新聞	文語	太田正孝	先進社
鐵窓	花	林房雄	中央公論社
四術	講話	江口漁、貴司山治編	改造社
藝術	消すな	大泉黒石	大阪屋號
聖母	の畫像	中里介山	春秋社
自國	の榮光	上田秋夫	啓明社
田園	の榮光	吉地昌一	泰文社
黃夫人	の跡	大泉黒石	春秋社
スバイク	の跡	人見絹枝	平凡社
現代婦人	讀本	神近市子	天人社
農村	財政	清水長郷	日本評論社
明るい	村暗い	東京朝日經濟部編	日本評論社
日本農民	争闘史	木村精二	白楊社
經濟	座談	ダイヤモンド社編	博文館
社會文化	と人間改造	帆足理一郎	博文館
國民性	及時代思想	永井亭	岩波書店
日本歴史	の進路	佐野學	民友社
若き日本	の進路	井上雅二	民友社
鶏の榮養	と飼料	大矢敏範	鶏の研究會
トマト	栽培及加工法	久野正明	西原刊行會
山羊	の飼ひ方	中村光義	春陽堂
蜜蜂	の有利な飼ひ方		主婦の友社
産業組合	講義		産業組合中央會
理工醫	之部		實業之日本社
早老	する勿れ	小田部莊三郎	春陽堂
闘病	術	小酒井不木	春陽堂
美術工藝	之部		中央美術館
木竹	の工藝	小泉吉兵衛	中央美術館
版画	の科學	石井柏亭	中央美術館
版画	の手ほどき	旭正秀	中央美術館
計參拾冊			

馬鈴薯ノ栽培ニツイテ

村農會 木下生

近年馬鈴薯ノ利用頗ル多ク食料ヲ主トシ工業其他ニ消費セラル、量莫大ニテ今後之ガ栽培ト利用研究ハ、米作ニ次ギ重大ナルモノト信ズ

過日本村農會ニ於テ之ガ品種ノ改善ヲ計ル爲メ村内ニ斡旋セシ種子量ハ八百餘貫ナルヲ見テモ如何ニ多ク栽培セラル、カラ知ル紙面ニ限リアルヲ以テ極ク簡單ニ栽培ノ要旨ヲ記ス

品種 馬鈴薯ノ品種ニモ種々アリテ其ノ數三十餘種アリ本村ニ於テ栽培セラル、モノハ名ノ知ラレタルモノハアールローズ位ニシテ他ハ無名ノ在來種ナリ依ツテ今回相當多ク栽培セラル、新品種蝦夷錦種ニツキ記ス、早生種ニシテ色白ク頗ル大ニシテ稍々丸形ヲナシ芽數少ク溝ハ淺シ澱粉質量ハ他ノ品種ニ比シ多クシテ肉質ヨクシマリ味イ良好ニシテ貯藏ニ堪ヘ早クヨリ青物市場へ出荷スルニ向ノ品種ナリ收穫量ハアールローズニ比較シテ稍々少キ憾アリ

土壤ハ膨軟ニシテ肥沃ナル然モ排水良好ナル地ヲ良シトス若シ之ニ反スル場合ハ人工的ニ之ニ近カカラシメル様心掛クベシ、強粘土ノ如キハ充分耕肥シテ堆肥ノ如キモノヲ施シ其ノ質ヲ幾分ナリ改メ栽培スル事干要ナリ

種薯ヲ撰擇スルニハ先ヅ病氣ケノ無キモノヲ撰ミ一個七匁以下ノモノハ概シテ未熟ナルヲ以テ成可ク用ヒザルヲ得策トス

播種量ハ普通一畝歩ニ付キ四貫匁内外ヲ用フベク一個四十匁以上ノモノハ二ツ割トシテ木灰ヲ附着シ

讀書寸言

○書籍は緋く毎に何事を知るか
○書籍は常に緋かざるべきは木片に均し (英國俚諺)
○知識の源泉は書籍を経て流る (希臘俚諺)
○書籍の集りたるは即ち真正の大學なり (カール)

多ク窒素モ又少カラズ然レ共窒素ノ施用量多キニ過ギル時ハ莖葉ノ繁茂シ塊莖(薯)比較的小サク品質モ又劣ルノ欠点アリ、燐酸ハ其ノ吸收率低キガ故相當多ク施スノ必要アリ、種々ナル事情ヨリシテ大体本村畑作ニ對スル三要素標準ハ窒素三貫七百匁燐酸二貫五百匁加里四貫匁位ガ適當ナラン

參考ノ爲メ何レノ農家ニテモ適應シ得ル比較的成績良好ナル肥料設計ヲ記ス(但シ一畝歩當)

第三例

堆肥 三〇貫匁 木灰 二貫匁

覆土ニツイテハ種々ナル説アルモ實際ヨリシテ淺播トシ成育ニ從ヒ寄土ヲ行フ方ガ收穫量多シ、中ニハ自給肥料ヲ用フル場合即チ種薯ノ上ニ堆肥ノ如キモノヲ施シ覆土シタ時又ハ輕キ砂土ニ下種シタル場合ハ幾分深播トナルモ成績良好ノ如シ

管理 發生後適宜中耕除草ヲ行ナイ同時ニ土寄ヲ二、三回行フヲ良シトス、發生後五六寸伸長シタ時強整一株ニツキ二本乃至三本ヲ殘シテ他ハ全部採取ルベシ、之ヲオコタル時ハ一株ヨリ數多ノ莖發生シ薯ハ小形ナルヲ免レズ、尙六月下旬頃薯ノ充實ヲ計ル目的ツ以ツテ莖葉ノ先端ヲ刈取ル者アレ共却ツテ薯ノ成熟ヲサマタゲル故花ノミニテ他ハ刈取ラザルヲ良シトス

害虫ノ驅除 馬鈴薯ノ害虫ノ主ナルモノハテントウ虫ダマシニシテ之ガ驅除預防ヲオコタル場合ハ該虫ノ爲ニ殆ンド食イツクサレ爲ニ薯ノ成熟ヲ害シ收穫量ニ至大ノ影響アルモノナレバ五月初旬一二頭親ノ表レタ時捕殺ニツトメ尙七八寸伸長シタル時ヨリ十五日置キニ一回宛防除劑ヲ散布スレバ必ラズ豫防ヲナシ得ルモノナリ

◎山羊乳について

葉ノ表裏ニ撒布ス毒劑ニツキ注意ヲ要ス

霜柱ガ解けてぬかるみから黒土特有の臭覺を感じる様になり人々はこれを春と云ふ、此の頃が一番に山羊のお産が多い時季であります。山羊乳は乳兒人工哺育に筋力精力増進に病人の滋養強壯飲料等に特別の比較的が證明してゐます。

種別 人乳 牛乳 山羊乳
水分 八七、五 八七、五 八三、六
脂肪 四、〇 三、五 四、六
蛋白質 一、五 三、五 七、〇
糖分 七、〇 四、三 四、三
塩分 〇、二 〇、七 〇、五
計 100、0 100、0 100、0

佛國の巴里市ラウイル屠殺場毎山羊の屠殺が拾三万頭の多きに達するをうだが今だ一頭も結核に患つたのを見ないやうです

【手前味噌の記】

前号は印刷してから其の筋の注意に依り届出の形式を變更したので遂發行期日を遅延せしめた様な譯で有ります

今月号も種々手の引けの私事の爲編輯が遅れたので諸兄の諒解を受けた様な次第です。次号からは充分に余裕を以て進みたいと思ふ

一般に若い人達(青年、處女)の投稿が少くない。諸兄姉よー土だれけの熱有る稿をどしく送つてほしい。

詩、和歌、俳句、口語歌、小曲、民謡、小品文、論説……等種類を問ひませんから。

豫定原稿の集が悪くて編輯が思様に行きませんから、必ず切迄には忘れないうで御届下さい

△ 村民の方々も他人事と思はずにごしく御利用あらん事を望みます。(四、三)